

事業所名

放課後等デイサービス トムソーヤ

支援プログラム

作成日

令和7

年

3

月

6

日

法人（事業所）理念	ありのままの子供たちの姿を受け止め、個性や能力を大切にし、未来を生きていく意欲や無限大である子供の可能性を、最大限に引き出すことが出来るように成長を後押し出来るように、サポートを行っていくことです。						
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個性を伸ばし、経験を増やし、自己肯定感を育み自信につなげます。</li> <li>○ 小集団生活の場で、対人関係スキル・マナーやルールを学び社会性を身につけ、自己有能感を育みます。</li> <li>○ 保護者視点の立場で物事を考え、子供とご家族に寄り添い何でも相談し合える関係づくりを築いて行きます。</li> </ul>						
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自宅での睡眠や食事・一日の流れを把握し、生活リズムを整える。</li> <li>○ 身辺面の基本的な日常生活動作が身に付く。</li> <li>○ 体を沢山動かす、気持ちの発散とともに体力をつける。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢の保持や日常動作をスムーズに行えるように支援する。</li> <li>○ 体幹バランスの保持や上肢・下肢の運動や動作の獲得・筋力強化を図る。</li> <li>○ 感覚統合療法を取り入れながら、感覚の偏りを軽減し整える。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見る・聴く・触る・嗅ぐ・味わうこの五感を刺激しながら、認知機能の発達を促せる。</li> <li>○ 個々の特性を理解し配慮しながら、知的活動を取り入れ脳を鍛える。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小集団の生活の場で、ソーシャルスキルトレーニングを通して、関わり方や表現の仕方を練習をする。</li> <li>○ 場面に応じた相応しいモデルと一緒に示し、視覚と聴覚の両方からアプローチし理解を促す。</li> <li>○ 遊びの中で、状況に合わせた物事と言葉の組み合わせ・発語や発声の練習を促す。</li> <li>○ 文字やジェスチャー、言葉で話し手・伝い手の気持ちのやりとりをしながら経験を増やす。</li> <li>○ お友達からの刺激を受け、自己有能感を育む。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人との関わりの中で、相手を意識し親近感を保ち互いを理解し合える。</li> <li>○ 活動の中で、マナーやルールを身につけ協同性を養い、人間関係を築く。</li> <li>○ 地域活動や外出を行い気分転換を図り、様々な体験をしながら感情表現や表現方法を学ぶ。</li> </ul>					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 愛着の安定を図る。</li> <li>○ ご家族からの相談に対し、共感的理解や適切な助言・配慮を行う。</li> <li>○ 本人・ご家族のニーズを汲み取り、特性理解をしながら環境の安定化を図る。</li> </ul>			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校への移行支援。</li> <li>○ 将来を見据えての移行を視野に入れた取組みを行う。</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育園や児童発達支援、学校、医療機関との情報交換・情報共有を行い、支援内容の見直し・確認を行う。</li> </ul>			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日々の職員間での情報交換・情報共有・支援内容の見直し・確認。</li> <li>○ 事業所内研修の開催。</li> <li>○ 外部研修の積極的な参加。</li> </ul>		
主な行事等	<p>普段の野外活動や公園・散歩以外に、クッキング・お買い物体験・制作・イベント見学。その他、季節に合わせた活動（お花見・七夕・クリスマス会・初詣（お餅を食べる）・節分・芋ほり等）長期休暇では、川遊び・魚つかみ・工場や施設見学などの社会科体験・交通機関の利用体験・ランチバイキング・素麺流し等、様々な活動を考えながら、取り組んでいます。</p>						